



大和こども園の教育・保育方針

今年の大和こども園の大きな方針についてお話しします。大和こども園は、法人の理念である「善隣のこころ」「いつでもどこでもそしてだれにでも われ等 よき隣人たらん」をもとに、「安全」「自然」「積善」を保育の方針にしています。

これらの理念、基本方針を受け、大和こども園の教育・保育目標は「しっかりした子」人に思いやりを きびしさを自分に としています。

この本園の教育・保育目標を具現化するために、今年度は目指す子どもの姿を

「夢中になって遊び込む子」としました。

昨年度までは、「やりたいことにチャレンジする子」としていましたが、昨年度見直し、変更いたしました。これは、子どもの思いや考え、判断を大切にするといった子どものもつ主体性を生かし、子どもの力を引き出すといった点には変わりはないのですが、チャレンジすればよいのではなく、何かに挑戦することを通して、遊びに夢中になることがその子の学びをつながると考えたからです。

今、学びという言葉を使いましたが、こども園も学校と同じように教育を施す施設です。ただ、小学校のやり方とは異なった方法で子どもの力を引き出しています。

こども園では、小学生のように学習の目的を意識して活動し、国語、算数、社会、理科など満遍なく広く知識を使い能力を引き出そうしますが、園では、楽しくて夢中になってやった活動によって結果として学んでいきます。例えば、鬼ごっこからは、ルールを作ることや守ること、縄跳びからは、粘り強さ、リレーからは、協力すること等、また、園生活、集団生活の中で起こる子ども同士の「いさかい」や「けんか」も他の子の気持ちを想像することや折り合いの付け方を学ぶ機会と捉えています。

このような学びが、思考力や判断力、思いやりの心、粘り強さ、社会性等を育み、学校での学びに向かう態度に生かされ、やがて、社会に出て活躍する力となっていきます。

今年、1年間、お子さんが園での遊び、生活の中での様々な経験を通して多くの学びが生まれると思います。保護者の方々には、担任を応援していただき、園を支えていただきたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

